

# 交渉速報(要旨) 申4号「冬期の取り組みに対する申し入れ」⑥

## 24. 車両センターでの防寒着・インナー等の貸与に関する考え方を明らかにすること。

会→どの系統もそうであるが、防寒着は貸与するが、インナー等の下着類はご自分でということとなる。

## 25. 磐越西線の沿線危険木への対策及び伐採について考え方を明らかにすること。

会→昨年同様 1000 本程度伐採を行う。伐採木の選定は線路に近接している大きな木や線路に向かって傾いている木などである。枝の垂れ下がりでの輸送障害もあったが、垂れてきて始めて認識できるので事前の伐採は困難である。

## 26. 五十島駅の線間プールを常時稼働させること。

組→新設されたが雪で覆われていた。

会→渇水はしていないことは確認しているし、水量は確保していることから、雪で覆われている下で水は流れていると考えられる。

## 27. 乗務員のポイント不転換対応について、輸送指令員に対して説明を行うこと。

会→11月の訓練で行う

## 28. ポイント不転換対応の際、乗務員と輸送指令員の意思疎通が相互に確認出来る取り扱いを実施すること。

会→指令としては当該駅の全線抑止、タブレットによる当該ポイントの明示、信号は触らない、転換試験時は退避確認で安全は確保されている。

組→その相互確認である。通告受領券の活用や相互チェック等、齟齬が発生しないお互いの仕組み作りを求めている。

会→認識は一致するところである。方法の問題はあるが齟齬がないよう運用する。

## 29. 乗務員によるポイント不転換対応の安全確保について保安体制及び保護具の視点で明らかにすること。

組→訓練で上げた質問が返ってこないが、支社としてどうなっているのか

会→質問は上がっている。車掌から長靴を履いてはダメなのか?→問題ないと回答したり。

組→返ってこない質問を具体的に質問する。散水装置は止められるのか?

会→散水は止められない。散水状態のまま対応する。

組→ワンマン列車は車内に協力者がいる場合は対応可能とされているが、どこまでを協力者に含めるのか

会→確認する

組→設備社員から1人作業はあり得ないとの声があるがどうか

会→人身事故など1人で降りて対応している。

組→用具や保護具が頼りないと説明している人が言っているが

会→試行で課題があれば変えていく

組→訓練を受けていない人には対応させないとあるが、訓練会に出た人は訓練済みか?

会→訓練済みである

組→秋晴れの中指定通路を歩いてポイントの動作を見ただけである。雪の上をシューズカバーを使って歩かせる、ポイントに雪を詰めて掻き出させるなど実践が必要ではないか?

会→試行の中で判断していく